

第二十四回帝國議會 院 地租條例中改正法律案外二十九件委員會會議錄(速記)第二回

會議

明治四十一年一月二十九日午後二時二十三分開議

出席委員左ノ如シ

- |         |         |         |
|---------|---------|---------|
| 栗原 亮一君  | 松浦 五兵衛君 | 野田 卯太郎君 |
| 齋藤 良輔君  | 大津 淳一郎君 | 古井 由之君  |
| 菅原 傳君   | 奥野 市次郎君 | 大熊 三之助君 |
| 木村 半兵衛君 | 合田 福太郎君 | 栗塚 省吾君  |
| 北村 左吉君  | 濱名 信平君  | 關 直彦君   |
| 關野 善次郎君 | 横田 虎彦君  | 森本 駿君   |
| 大岡 育造君  | 紫垣 一雄君  | 鈴木 摠兵衛君 |
| 久保 伊一郎君 | 永島 龜代司君 | 木暮 武太夫君 |
| 竹内 正志君  | 三井 忠藏君  | 多田 作兵衛君 |
| 内山 吉太君  | 中倉 万次郎君 | 富島 暢夫君  |
| 濱田 國松君  | 早速 整爾君  | 上埜 安太郎君 |
| 池田 惟貞君  | 松田 吉三郎君 | 淺野 陽吉君  |
| 愛澤 寧堅君  | 安田 勳君   | 内藤 利八君  |
| 大石 熊吉君  | 武市 庫太君  | 服部 小十郎君 |
| 川真田德三郎君 |         |         |

出席國務大臣左ノ如シ

- 司法大臣 松田 正久君  
大藏大臣 大藏省主税局長 櫻井鐵太郎君

出席政府委員左ノ如シ

- 大藏次官 水町袈裟六君  
大藏書記官 菅原 通敬君  
大藏省主税局長 櫻井鐵太郎君  
司法省參事 入江 良之君  
官兼檢察 入江 良之君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

- 地租條例中改正法律案(政府提出)
- 災害地租特別處分法案(政府提出)
- 宅地地價修正法案(政府提出)
- 所得稅法中改正法律案(政府提出)
- 營業稅法中改正法律案(政府提出)
- 沖繩縣及東京府小笠原島伊豆七島ニ於ケル酒造稅ニ關スル法律案(政府提出)
- 沖繩縣酒類出港稅則中改正法律案(政府提出)
- 酒母、醪及麴取締法中改正法律案(政府提出)

第五類第一號 地租條例中改正法律案外二十九件委員會會議錄 第二回

明治四十一年一月二十九日

煉乳原料砂糖戻稅法案(政府提出)  
織物消費稅法案(政府提出)  
賣藥稅法中改正法律案(政府提出)  
砂金採取地稅法案(政府提出)  
鑛業法中改正法律案(政府提出)  
登錄稅法中改正法律案(政府提出)  
取引所稅法中改正法律案(政府提出)  
通行稅法案(政府提出)  
相續稅法中改正法律案(政府提出)  
狩獵法中改正法律案(政府提出)  
印紙稅法中改正法律案(政府提出)  
民事訴訟用印紙法中改正法律案(政府提出)  
商事非訟事件印紙法中改正法律案(政府提出)  
行政訴訟書類印紙貼用廢止ニ關スル法律案(政府提出)  
地方稅制限ニ關スル法律案(政府提出)  
沖繩縣ニ於ケル舊租免除ニ關スル法律案(政府提出)  
酒造稅法中改正法律案(政府提出)  
酒精及酒精含有飲料稅法中改正法律案(政府提出)  
麥酒稅法中改正法律案(政府提出)  
砂糖消費稅法中改正法律案(政府提出)  
石油消費稅法案(政府提出)  
關稅定率法輸入稅表中改正法律案(政府提出)  
○委員長(栗原亮一君) ソレデハ會ヲ開キマス、疾ニ委員會ヲ開ク答デアリマシタガ、今豫算總會中デアリマシテ彼此差支ヘマシテ今日迄延ビマシタノデアリマスガ、今日始メテ第一回ヲ開クニ當リマシテハ、先ツ當局ヨリ大體ノ説明ヲ聽キマシテ、ソレカラソレノ又質問ニ掛ルコトニ致シタイト思フノデアリマス、此委員會ニ付託セラレマシタノハ地租條例外二十九件、即チ此稅法整理案ガ初メニナッテ居ルノデアリマスガ、今此四十一年度ノ追加豫算モ提出ニナッテ居リマシテ、此豫算ト増稅案ノ方ガ密著ノ關係ヲ有ッテ居リマスカラ、便宜上増稅案ノ方カラシテ前ニ議ニ掛リマシテ、是ガ終タトコロテ整理案ノ方ニ掛ッタ方ガ便宜ト思ヒマスカラシテ、順序ハ左様ニ致シマスカラ御了承ヲ願ヒマス、ソレカラ參考書モ茲ニ廻ッテ居リマス、尙又此大體ノ質問ノ上カラシテ、ソレ等ノ參考書ノ必要モ生ズルデアリマセウシ、尙又諸君ノ中ニ於カレテ、是ト云フ參考書ノ必要ノ有ル方ハ事項ヲ御示シナリマシテ、今日當局ノ方ニ御質問ニナルノガ便利ト考ヘマス  
○大津淳一郎君 唯今委員長ノ仰セノ委員會ノ順序ハ御尤ノコトデアリマスケレドモ、サリナガラ此增稅案ガ獨リ豫算ノ方ニ追加豫算ガ出テ關係ヲ有ッテ居ルバカリテナク

シテ、税法整理ト云フ方ノモノモ税法整理ノ結果豫算ニ計上シテアルト、是モヤハリ厚簿ハ有リマセウガ、關係ヲ有テ居ルト云フ様ナモノニナリマスカラ、順序ハ宜シトシテ總體ノ御説明ヲ聽キ、大體ニ於テハ兩方ヲ一緒ニ質問シテ、御説明ヲ受ケルト云フコトニシテ、細カナ審議ト云フコトニ付テハ、委員長ノ御説明通りノコトニシタト思ヒマシマス

○委員長(栗原亮一君) ソレテ宜シウゴサイマス、説明ヲ併セテ當局ヨリシテ貫ヒタイ

○大熊三之助君 増稅案ノ方ヲ前ニヤルト云フヤウニ伺ヒマシタガ、元來税法整理案ノ方ヲ前ニスルガ至當ト思フ、税法整理案カラ先ニ定メマシテ、ソレカラ増稅案ヲ定メセント云フト、法律ノ順序トシテ甚ダ面白クナカラウト思ヒマシマス、私ハ整理案ノ方ヲ前ニセラレンコトヲ希望致シマシマス

○委員長(栗原亮一君) ソレテハ説明ヲ併シテ整理ノ方ト増稅ノ方トヲ一時ニ當局ノ説明ヲシテ貫フコトニシマセウ

○國務大臣(松田正久君) 委員諸君、税法整理及増稅案ニ付テ簡單ニ一言申上ケルノガ必要ト思ヒマシマス、其順序ハ孰レニシテモ宜シト云フコトデアリマシマス、固ヨリ大體ノコトデアリマシカス、税法整理ノコトニ付キマシテ申上ケマシマス、御承知ノ如ク衆議院ニ於テ此税法整理ト云フ問題ガ起リマシタ末、政府ハ曩ニ二箇年ヲ期シテ税法ヲ整理スト云フコトヲ言明致シテ居リマシマス、從テ初メ大藏省ニ於テ税法審査會ト云フモノヲ設ケテ一ト通り審査ヲ致シ、而シテ整理案ト云フモノガ出來タデアリマシマス、然ルトコロ右ノ審査委員ト云フモノハ單ニ高等官ノモノヲ集メテ調査ヲシタ結果ニナッタノミデゴザリマシテ、其後廣ク知識ヲ集メテ慎重ニ審査ヲ致シ宜シト云フコトヨリシテ、後ニ至テ貴衆兩院ノ議員諸氏ニ囑托ヲ致シ、又民間ノ識者ヲ採シテ一ノ審査委員會ト云フモノヲ組織シテ、而シテ更ニ最モ慎重ノ審査ヲシタ末、遂ニ税法整理ト云フモノガ出來タデアリマシマス、此税法ノ整理ト云フコトハ、時々政府委員ヨリモ述ベマシタ如ク、即チ本會若クハ豫算委員會ニ於テモ述ベテ居リマシマス、元來稅額ノ増減ヲ目的トシタモノデナイ、單ニ整理ノ一點ニ着目ヲ致シタト云フコトニナツテ居リマシマス、又初メ第一ノ審査會ニ於キマシテハ、税法ヲ根本的ニ改正ヲ致スト云フ案モ出來、或ハ又折衷案等モ出來タサウデアリマシマス、其種々ノ案ヲ後ノ第二ノ審査委員會ニ總テ持出シテ、サウシテ審議ヲ遂ケタル末、即チ今日諸君ノ御手許ニ提出ヲ致シテアルトコロノ案ニ決定ヲ致シタト云フコトニナツテ居リマシマス、故ニ此整理案ハ、決シテ稅額ノ増減ヲ目的トシタモノデナイ、而シテ第二ノ委員會ニ於テ此案ヲ採ツタ、斯ウ云フコトニナツテ居リマシカス、其顛末ヲ御話ヲ致シテ置クノガ必要ト思ヒマシカス、右ノ段ヲ申上ケテ置キマシマス、何卒委員會ニ於テ御同意ヲ願ヒテ置キマシマス、ソレカラ増稅案ニ付テ一言致シテ置キマシマス、是ハ過日本會ニ於テ大體ハ申シテ置キマシタ、四十一年度ノ豫算ヲ編成スルニ當ツテハ、最モ財政ヲ將來ニ鞏固ニ維持セシケレバナラヌト云フ方針ヨリシテ、一方ニハ既定歲出ニ多額ノ繰延ヲ致シ、一方ニ四十一年度各省ノ新要ヲ求テ殆ドツレヲ削ツテシマツテ尙此財政ヲ鞏固ニ致スニハ多少ノ増稅ヲ致サンケレバ、將來ニ於テ大ニ財政上ノ困難ヲ致ス、斯ウ云フトコロヨリシテ、遂ニ金額ハ二千五百萬バカリノ見込ヲ以テ増稅ヲ致スコトニナツタノデ

スガ、此増稅ヲ爲スニ當ツテ此三種ノ稅ヲ選ンダ、ソレハ即チ此稅ノ性質ニ依ツテ分明ナル如ク、總テハ間接稅デアリマシマス、何故ニ今同間接稅ノミニ増稅ヲ致スト云フコトニシタカト申シマシレバ、御承知ノ如ク、間接稅ハハ社會ノ發達スルニ從ツテ收入ガ増スモノデアアル、又是ヲ國民ガ負擔ヲ致スニモ總テ同一ニ負擔ガ出來ルモノデアアル、直接稅デアリマシカスカラ同一ニ負擔ガ出來ルノデアアル、殊ニ苦痛ヲ餘リ感ゼヌモノデアアル、尙又歐羅巴各國ノ近時ノ傾向調査致シタル結果ニ依リマシレバ、多クハ間接稅ヲ取ル傾ガアルノデス、是モヤハリ右申シタル如キ此間接稅ノ性質デアリマシテ、社會ノ發達ニ從ツテ自ラ收入額ガ殖エル、負擔ガ均一ニ行クト云フトコロヨリシテ、近年益々間接稅ニ傾イテ來テ居ルノデアリマシカス、即チ各國文明國ノ一各文明國ノ實際ノ事實ニ徴スルトコロニ依ツテ、先ツ此節増稅ヲ致スニハ、間接稅ニスル方ガ相當デアラウト云フトコロヨリシテ、此三種ノ間接稅ヲ選ンダデアリマシマス、今日我邦財政ノ必要ヨリシテ斯ノ如キ増稅ノ已ムヲ得ザルニ至ツタ次第デアリマシマス、ドウカ諸君御審査ノ上御協贊アラシコトヲ希望致シタメニ大體ノ説明ヲ致シ次第デアリマシマス、尙整理案増稅案ニ付テ詳シキコトハ、政府委員ヨリ御質問ニ一々御答辯ヲ致スコトニ致シマシマス

○大津淳一郎君 唯今大藏大臣ヨリ大體ノ御説明ガゴザイマシタ中ニ、曩ニ稅制整理委員會ノ成立カラ其結果ヲ提出シタト云フコトハ承知致シマシタガ、其次ノ増稅計畫ニ對シテハ、四十一年度ノ豫算ヲ編成スルニ當ツテ、繰延アベキ事業ハ繰延ベタ結果ニ對シテハ、必要ヲ生ジテ増稅ヲスルニ至ツタト云フコト、終リニ臨ンデ、財政上已ムヲ得ヌト云フ御言葉ガアツタデアアル、曩ニ四十年度ノ豫算ヲ編成シテ現内閣ガ提出シテ、豫算委員長ハ之ニ對シテ明從ヲスルト云フコト、全部ヲ其儘贊成シ、吾々モ亦現内閣ヲ當時立憲の内閣ト過信シテ、斯ノ如キ計畫ハ遂行スルニ力アル内閣ト、吾々共信シテ之ニ同意ヲ表シタ、然レニ未ダ一週年ナラザル四十一年度ノ豫算ヲ編成スルニ當リテ、曩ノ豫算ノ遂行シ決行シ得タ顛末ニ付テ著シキ困難、當時ノ計畫ガ遂行スベカラザルト云フ狀況ノ御説明ハ一モナクシテ唯四十一年度ノ豫算ヲ編成スルニ當ツテ繰延アベキハ繰延ト云フ御説明デハ、苟モ此國民ノ負擔ヲ此上重ヌルト云フ御説明ニハ飽足ラヌト、吾々共ハ考ヘマシマシタ、増稅ニ付テハ此地方一般ニ今日ノ現在ノ稅額スラ隨分重キニ苦ンデ居ル、又此上稅ヲ課セラレルト云フコトハ困難ト云フコト、増稅ニ反對ノ聲ハ内閣諸公モ已ニ十分御聽取ニナツテ居ル、然ルヲ尙愛ニ増稅ヲセンケレバナラヌ、豫算委員會ニ於テ大藏大臣ハ、戰爭ノ準備金ハ何レノ國ニモ取ツテ置キハセヌガ、若シ一朝事アレバ國民ノ愛國心ニ訴ヘルト云フ御説明モアツタト聽イテ居リマシマス、此愛國心ニ訴ヘルト云フ位ニ國民ヲ愛スル、國民ヲ信スル内閣デアラナラバ、此愛國心ヲ有ツテ居ル國民ニ増稅ノ困難ト云フ聲ヲ聞イテモ、尙是ニ追窮セナケレバナラヌト云フ小計畫ヲ一増稅計畫ヲ立ツルノハ如何デアアルカ、現内閣ノ前年計畫サレタ以來今日ノ狀況ニ至リ、已ムヲ得ザルト云フ事實ハ、唯ダ豫算編成ニ當リ繰延アベキハ繰延ベ、足リナイカラ増稅ト云フコトハ事足ラヌト思フ、何故ニ前年ノ計畫ヲ議會ヲシテ明從セシメタマデノ立派ナ計畫ガ、何故ニ今日行ハレナイデ、即チ増稅スルヤウニナツタデアリマシカス、當時大藏大臣ハ増稅ハセヌ、公債ハ募集セヌト云ハレタコトハ、天下ノ人皆耳ニ

併抵ノイル程ニ承知シテ居ル、然レニ一週間ナラズシテ此増稅ヲスルニ至ツタコトハ、豫

止ツテ居リマス、即チ此増稅ハ三種ニ止メテアル、酒稅、砂糖消費稅及石油稅デアリマ

スガ、此増稅ヲ爲スニ當ツテ此三種ノ稅ヲ選ンダ、ソレハ即チ此稅ノ性質ニ依ツテ分明ナル如ク、總テハ間接稅デアリマシマス、何故ニ今同間接稅ノミニ増稅ヲ致スト云フコトニシタカト申シマシレバ、御承知ノ如ク、間接稅ハハ社會ノ發達スルニ從ツテ收入ガ増スモノデアアル、又是ヲ國民ガ負擔ヲ致スニモ總テ同一ニ負擔ガ出來ルモノデアアル、直接稅デアリマシカスカラ同一ニ負擔ガ出來ルノデアアル、殊ニ苦痛ヲ餘リ感ゼヌモノデアアル、尙又歐羅巴各國ノ近時ノ傾向調査致シタル結果ニ依リマシレバ、多クハ間接稅ヲ取ル傾ガアルノデス、是モヤハリ右申シタル如キ此間接稅ノ性質デアリマシテ、社會ノ發達ニ從ツテ自ラ收入額ガ殖エル、負擔ガ均一ニ行クト云フトコロヨリシテ、近年益々間接稅ニ傾イテ來テ居ルノデアリマシカス、即チ各國文明國ノ一各文明國ノ實際ノ事實ニ徴スルトコロニ依ツテ、先ツ此節増稅ヲ致スニハ、間接稅ニスル方ガ相當デアラウト云フトコロヨリシテ、此三種ノ間接稅ヲ選ンダデアリマシマス、今日我邦財政ノ必要ヨリシテ斯ノ如キ増稅ノ已ムヲ得ザルニ至ツタ次第デアリマシマス、ドウカ諸君御審査ノ上御協贊アラシコトヲ希望致シタメニ大體ノ説明ヲ致シ次第デアリマシマス、尙整理案増稅案ニ付テ詳シキコトハ、政府委員ヨリ御質問ニ一々御答辯ヲ致スコトニ致シマシマス

○大津淳一郎君 唯今大藏大臣ヨリ大體ノ御説明ガゴザイマシタ中ニ、曩ニ稅制整理委員會ノ成立カラ其結果ヲ提出シタト云フコトハ承知致シマシタガ、其次ノ増稅計畫ニ對シテハ、四十一年度ノ豫算ヲ編成スルニ當ツテ、繰延アベキ事業ハ繰延ベタ結果ニ對シテハ、必要ヲ生ジテ増稅ヲスルニ至ツタト云フコト、終リニ臨ンデ、財政上已ムヲ得ヌト云フ御言葉ガアツタデアアル、曩ニ四十年度ノ豫算ヲ編成シテ現内閣ガ提出シテ、豫算委員長ハ之ニ對シテ明從ヲスルト云フコト、全部ヲ其儘贊成シ、吾々モ亦現内閣ヲ當時立憲の内閣ト過信シテ、斯ノ如キ計畫ハ遂行スルニ力アル内閣ト、吾々共信シテ之ニ同意ヲ表シタ、然レニ未ダ一週年ナラザル四十一年度ノ豫算ヲ編成スルニ當リテ、曩ノ豫算ノ遂行シ決行シ得タ顛末ニ付テ著シキ困難、當時ノ計畫ガ遂行スベカラザルト云フ狀況ノ御説明ハ一モナクシテ唯四十一年度ノ豫算ヲ編成スルニ當ツテ繰延アベキハ繰延ト云フ御説明デハ、苟モ此國民ノ負擔ヲ此上重ヌルト云フ御説明ニハ飽足ラヌト、吾々共ハ考ヘマシマシタ、増稅ニ付テハ此地方一般ニ今日ノ現在ノ稅額スラ隨分重キニ苦ンデ居ル、又此上稅ヲ課セラレルト云フコトハ困難ト云フコト、増稅ニ反對ノ聲ハ内閣諸公モ已ニ十分御聽取ニナツテ居ル、然ルヲ尙愛ニ増稅ヲセンケレバナラヌ、豫算委員會ニ於テ大藏大臣ハ、戰爭ノ準備金ハ何レノ國ニモ取ツテ置キハセヌガ、若シ一朝事アレバ國民ノ愛國心ニ訴ヘルト云フ御説明モアツタト聽イテ居リマシマス、此愛國心ニ訴ヘルト云フ位ニ國民ヲ愛スル、國民ヲ信スル内閣デアラナラバ、此愛國心ヲ有ツテ居ル國民ニ増稅ノ困難ト云フ聲ヲ聞イテモ、尙是ニ追窮セナケレバナラヌト云フ小計畫ヲ一増稅計畫ヲ立ツルノハ如何デアアルカ、現内閣ノ前年計畫サレタ以來今日ノ狀況ニ至リ、已ムヲ得ザルト云フ事實ハ、唯ダ豫算編成ニ當リ繰延アベキハ繰延ベ、足リナイカラ増稅ト云フコトハ事足ラヌト思フ、何故ニ前年ノ計畫ヲ議會ヲシテ明從セシメタマデノ立派ナ計畫ガ、何故ニ今日行ハレナイデ、即チ増稅スルヤウニナツタデアリマシカス、當時大藏大臣ハ増稅ハセヌ、公債ハ募集セヌト云ハレタコトハ、天下ノ人皆耳ニ

併抵ノイル程ニ承知シテ居ル、然レニ一週間ナラズシテ此増稅ヲスルニ至ツタコトハ、豫

止ツテ居リマス、即チ此増稅ハ三種ニ止メテアル、酒稅、砂糖消費稅及石油稅デアリマ

算ヲ編成スルニ當リ繰延ベキハ繰延ベ、足ラナイカラ増稅ヲスルノ已ムヲ得ヌト云フ御  
說明デハ、少シ物足ラヌト存シマス、前年ノ現在四十年計畫以來又四十一年度ノ  
計畫ヲ立ツルマデノ間ニ、如何ナル御苦心、如何ナル變遷ガアッタト云フノデ、此局ニ  
至リテ云フコトヲ今少シ御親切ニ御丁寧ニ御說明アラシムコトヲ望ミマス

○大藏大臣(松田正久君) 說明ヲ親切ニ致セト云フコトデアリマスカラ、御疑問ニ對  
シテハ出來得ル限り私モ答ヘル積リニシテ居リマスガ、大津君ハ豫算會ニ今御話モアツタ  
如ク、豫算會ニ於テモ政府委員及其他ノ當局ヨリシテ、說明ヲ致シタコトニ付テモ、  
略々御承知ニナツテ居ルコト、思ヒマス、又本會ニ於テモ一通リ說明致シテ置イタ積リ  
デアリマス、併シ未ダ說明ハ一向足りナイ、不親切ナルト云フ御意見デアレバ、ソレデ  
宜シイデアリマスガ、度々申スノ却テ御聽キニナツタ御方ハ煩ハシイカト思ヒマスガ、  
右ノ如キ御質問ガ出レハ尙一度之ヲ繰返サシケレバナラヌト云フコトニナルデアリマス  
ル、即チ本會ニ於テモ申シタル如ク、豫算會ニ於テモ申シタル如ク、四十年計畫ニ於テ  
計畫致シタルトコロヲ其通り今後實行シテ往カウトスレバ、先ヅ以テ多額ノ公債ニ依  
ルコトモ、實行シナケレバナラヌ、然レトモ、目下内外經濟界ノ狀況ニ於テ、許サヌトコロ  
ガアルデアアル、故ニ本年ヨリシテ更ニ財政ノ計畫ヲ立テナケレバ、後年ニ至リテ大ニ差  
支ガ起ルデアアル、是ガ先ヅ大根本トナツテ居ルデアリマス、ソレ故ニ先ニ申ス如クニ  
既定繼續費モ繰延ベ、新事業モ殆ド止メ、ソレデモ尙不足ヲ生ズル以上ハ、増稅ト云  
フコトハ誠ニ好マシカラザルトコロデアアルケレドモ、遂ニ已ムヲ得ナイト云フ、斯ウ言フコト  
ニナツタデアリマス、何モ其間ニ於テ仔細ノアラウ譯ハナイデアリマス、本會ニ於テ種々  
質問ノアツタ如クニ、ソレハドウモ先見ガ無カッタト云フヤウナ詰問ガドノ邊カラカアツタヤウ  
デアリマスガ、ナカノ、サウ經濟界ノコトハ餘程ムツカシイモノデアリマスカラ、斯ノ如ク  
最モ過敏ナル經濟界ノコトデアツテ見レバ、聊カノコトガ忽チソレガ響イテ來ルノデ、倫  
敦、巴里ノ金融ノコトニシテモ、日々變動ヲ生シテ來ルデアリマスカラ、ソレガ内國經  
濟界ニ影響シテ即チ今日ハ殆ド内外共通ノ經濟ト云フヤウニナツテ居リマスレバ、以前  
ノ如ク鎖港時代トハ大ニ違フデアリマス、故ニ内地ニ於テ起債ヲ致サント計畫ヲ致シ  
テ居ツタ其計畫ヲ實行スルコトモ出來ナイ、然レバ何カ財政ノ計畫ヲ變ヘテ往カナケレバ  
ナラヌト云フ已ムヲ得ザルトコロノ事情ガ出來ヲ致シタ譯テ、遂ニ好マシカラザルトコロノ  
増稅案ヲ提出致サンケレバナラヌ、而シテ之ニ依リテ將來財政ノ鞏固ヲ保タナケレバナラ  
ヌト云フコトガ、此案ヲ提出サレタル原因デアリマスカラ、ドウカ左様御諒承ヲ願ヒタイ  
デアリマス

○大藏三之助君 私ハ此増稅整理案ノ目的ニ付テ、此際御尋ヲ致シテ置キタイト思  
ヒマス、曩ニ大藏大臣ガ増稅調査會ニ臨シテ訓示サレタ趣意ニ依ルト云フト、第一ニ此  
租稅ノ負擔ノ偏重偏輕アルモノハ、是ガ權衡ヲ得セシムル、第二課稅ノタメ、又ハ其稅  
率ノ高キタメ、産業ノ發達ヲ妨ゲルモノハ、課稅ヲ廢シ稅率ヲ低クスル、第三稅率ヲ高  
メタルタメニ租稅ノ收入ヲ減ズルモノハ稅率ヲ低減スル、第四ニ賦課徵收ノ方法煩細  
ナルモノハ、簡捷ナラシムト云フ事ヲ目的トシテ、稅法整理ト云フモノヲセラレタイト云フ  
コトヲ、吾々ハ承知シテ居ルデアリマス、ソコデ吾々ハ少シ疑ヒマス點ヲ擧ゲテ、御答  
辯ヲ求メルノデゴザイマスガ、其第一ノ目的トサレテ居リマスルトコロハ、租稅ノ負擔ノ偏

重偏輕ナルヲ權衡ヲ得セシムル目的デアアル、斯ウ云フデアリマスガ、今回議會ニ提出  
サレマシタトコロノ整理案ヲ見マスルト云フト、其目的ガ果シテ第一ノ目的ヲ貫徹シテ居  
ルヤ否ヤト云フコトヲ疑フデアリマス、茲ニ一例ヲ擧ゲテ見ルト、宅地價ノ修正案ニ依  
ルト、其第三條ニ於テ「賃賃價額ノ十倍ガ現府地價ノ二十倍ヲ超エルトキハ現在地價  
ノ二十倍ヲ以テ其ノ地價トス」斯ウ制限ヲ附セラレタ、而シテ此宅地價ノ變動ハ、地價  
ヲ定メラレタ以來二十餘年ヲ經過シテ居ル今日デアリマスカラ、土地ノ盛衰ニ依リテ非  
常ニ變動シテ居リマス、サウ云フモノハ無論多クデアリマスガ、又或時ハ或勢力ノタ  
メニ不法ナル地價ヲ定メラレタルモノモ澤山アルト云フコトヲ吾々ハ承知シテ居リマス、ソ  
レデアアルカラソレ等ノタメニ今日ノ實際ニ依ルト云フト、賃賃價額カラ地價ヲ割出スト云  
フト、其地價ト云フモノハ今日現在ノモノヨリ、數百倍ニ上ルモノガ澤山アル、ソコデ國  
民ガ收益ノ程度ニ於テ租稅ノ負擔ヲスルガ、一番公平デアアルデアリマスカラ、實際ノ賃  
賃價格デ、其賃賃價格ガ高ウゴザイマスレバ、即チ此賃賃價格ヨリ割出シテ、納稅ノ義  
務ヲ負擔スルノガ、當然デアアル、然ルニ現在ノ地價ノ二十倍ニ止メルト云フコトガアルト  
云フト、依然トシテ偏重偏輕ノ地價ヲ附スルト云フ已ムヲ得ザルニ至ルト思ヒマス、依然  
トシテ偏重偏輕タルヲ免レヌト云フコトニナレバ、此修正案ト云フモノハ所謂姑息ノ修正  
デアルト云フコトノ批難ヲサレテモ致方ガナイト思ヒマス、ソレカラ此地價ヲ定メマスル場  
合ニ於テ、現在ノ賃賃價格ヲ標準トスル、此現在ノ賃賃價格ト云フモノハ、机ノ上  
デハ分ラヌ議論デゴザイマスガ、餘程注意シナケレバナラヌ、現ニ茲ニ一例ヲ擧ゲテ見マス  
ト、縣ニ依リマシテハ非常ニ地價ガ高イ所ガアル、現ニ山口縣ノ如キハ平均シテ見マス  
ト、一反步二十圓デアアル、或ハ其他ノ各縣ニ付テ二十圓四十圓ト云フ所ガアリマス、  
一面ニ於テハ田舎ニ在リテモ全市ノ平均ヲ取リマス、一反步三付テ、百七十圓モ地價  
ヲ負擔シテ居ル、サウシマス、百七十圓ノ高イ地價ヲ負擔シテ居リマス所ニ於キマシテ  
ハ、實際需要供給ノ程度カラ云フト、此一坪ニ對スル賃賃料ハ二錢デ宜イ、或ハ四錢  
デ宜イト云フ場合デアリマシテモ、租稅ガ高イガタメニ已ムヲ得ズ、四錢デ宜イ所ヲ五錢  
取ラナケレバナラヌ、必要ニ迫ラレ、又五錢デ宜イ所ヲ六錢取ラナケレバナラヌ、斯ウ  
云フヤウナ必要ニ迫ラレテ、現在需要供給ノ程度ヨリモ、ヨリ多クノ借地料ヲ取ツテ居  
ルト云フ有様デアアル、ソコヘ以テ來マシテ直チニ此現在已ムヲ得ズシテ取ツテ居ル賃賃料  
ガ高イカラ、其賃賃料ヲ基本トシテ、之ニ十倍ヲ掛ケテ十倍シテサウシテ地價ヲ定メル、  
其地價ニ依リテ將來地租ヲ徵收スルト云フコトニナリマスレバ、今迄政府ニ餘計御奉公  
ヲシタト云フ因果ヲ持ツテ居ル所ニ於キマシテハ、將來ト雖モヤハリ、依然トシテサウ云フ  
租稅ヲ餘計拂ハナケレバナラヌト云フ事柄ニ陷ルデアリマス、ソレデゴザイマスカラ此賃  
賃價格ト云フモノヲ調ベラル、ニ付キマシテモ、サウ云フヤウナ事情モ斟酌サレテ居ルノデ  
ゴザイマスガ、或ハ唯現在取ツテ居ルモノ、即チ是ガ賃賃價格デアルト云フノデ、ソレヲ十  
倍致シマシテ地價ヲ定メラレテ居ルノデゴザイマスルカ、ソレヲ二就テモ宅地ノ問題ヲ  
申シマシタカラ、併セテ御尋ヲ致シテ置キマス、ソレカラ第二ノ稅法整理ノ主意ニ依リ  
マスルト、課稅ノタメ又ハ稅率高キタメニ産業ノ發達ヲ妨ゲルモノハ、課稅ヲ廢シ、又稅  
率ヲ低クスル、斯ウ云フノガ趣意ニナツテ居ルヤウニ書イデアリマス、所ガ此整理案ハ果シ  
テ此第二ノ目的ヲ達シテ居ルヤ、是モ甚ダ私ハ疑フデアアル、一例ヲ擧ゲテ見マスルト、現

ニ麥酒稅ノ如キハ如何ナル、我國ノ麥酒ハ極メテ幼稚ナルモノデゴザイマシテ、調査ニ依リマスト其製造高ノ如キモ、漸ク二十万石ホカ出來ナイト云フ有様ニテ居リマス、然ルニ此稅率ノ如キモ亦比較シテ見マスト、各國ノ中デ最高イモノト比較シマシテ、尙我國ノ麥酒稅ハ殆ド倍額ニナルト云フヤウナ有様ナル、ソレニ今又二圓モ増稅スルコトニナリマスト、愈々高クナリマス、若シ租稅ヲ高メルコトニナリマスト、稅法整理ノ第一ノ趣意ト云ハレル課稅ノ高イタメニ、産業ノ發達ヲ妨ゲルモノハ之ヲ棄ツルト云フ趣意、又稅率ノ高イモノハ低クスルト云フ趣意ハ、麥酒稅ノ例ヲ舉ゲテ見マシテモ、貫徹セヌヤウニ思ヒマス、其他一々例ヲ舉ゲレハ斯ウ云フ例ガ澤山アラウト思ヒマス、此點ニ付テモ御尋ガ致シタイノデアリマス、ソレカラ第三ノ稅法整理ノ趣意ニ依リマスト、稅率ヲ高メルタメニ租稅ノ收入ヲ減ズベキモノハ、稅率ヲ低クスル、斯ウ云フノデアリマス、所ガ此取引所稅ノ如キハ如何ナルカ、取引所稅ハ最初萬分ノ六デアリマシタノヲ、二七年三萬分ノ二増シマシテ、又二八年年度三萬分ノ二ヲ増シテ、現今ニ於テハ萬分ノ十二ト云フコトニナリマシタ、收稅ノ點ニ付テハ萬分ノ六デアッタ方ガ多ク納マツテ居ルノデアリマシテ、増稅シタ結果ハ倍ニシタカラ、倍租稅ガ納メテ居ルト云フ譯ニ參リマセヌ、寧ロ六ノトキノ方ガ餘計納メテ居ル、所ガ此増稅ヲ致シマシタ初メ、萬分ノ六デアッタノヲ十二ニ致シマシタ結果ハドウデアアルカト申シマス、昨年度ノ分ハ私ハ調ベマセヌカラ分リマセヌガ、其前二箇年度ノ分ニ付テ見マスト、取引所稅ノ如キハ、仲買人ガ取引所ニ玉ヲ出シマスト、御客様ガ注文ニナツタモノヲ、直チニ其全部ヲ取引所ニ出スモノデゴザイマセヌ、ドウシテモ吞マナケレバ仲買人ノ商賣ガ立チマセヌカラ、吞ミマス、ソレデアリマスカラ、取引所へ出シマストモノハ、仲買人ノ適宜デアル、今日ハ是丈位アッタカラ是ダゲ出シテ置カウト云フノデ、宜イ加減出ス、ソレデアリマスカラ、稅ヲ高クシタカラ稅が高イカラト言フテ少シ控ヘマシレバ、幾ラデモ租稅ヲ免カレルコトガ出來マス、斯ノ如キ事ハ租稅ヲ高クシテ稅率ヲ上ゲマシテ其効果ニ於テハ實際ニ收益ガ無イ、斯ウ云フ結果ニナツテ居リマス、ソレデゴザイマスカラ此稅率ノ高イガタメニ租稅ノ收入ヲ減ズルヤウナモノハ、之ヲ低ウスル、斯ウ云フ趣意ヲ述ベテ居リマスニ拘ハラズ、本案ヲ見マスト云フ、ヤハリ高イ其儘デ、提出サレタト云フ有様ニナツテ居リマスカラ、ヤハリ此趣意ガ貫徹セヌヤウニ考ヘマスカラ、此點ニ就テモ御尋致シマス、ソレカラ第四ニ課稅徵收ノ方法ハ煩雜ナルモノハ簡捷ナラシム、斯ウ云フコトガ御趣意ノヤウデアリマス、所ガ織物稅ノ一例ヲ以テ見マスト云フ、織物消費稅ヲ課スルノハ、同法ノ第四條ニ明カニ書イテゴザイマスガ如ク、織物ヲ引取ルトキニ、引取人ニ於テ之ヲ納付スルモノデアルト云フコトガ定メラレテ居リマス、果シテ然ラバ製造者ガ自己又ハ家族ノ用ニ供スルタメニ、製造シタル織物ト云フ物ハ、之ヲ外ヘ引取ラナイ、自分ノ家デ作ツテ、自分ニ著ルノデゴザイマスカラ、外ヘ引取ラナイ、引取ラナイモノデアリマスカラ、當然稅法ノ四條ニ據ツテ法律ノ解釋ト致シマシテハ、消費稅ヲ納ムル義務ノ發生ガ無イノデアル、義務ノ發生ガナイト云フコトニナリマシレバ、他ニ何等ノ規定ヲスル必要ガ無イノデアリマシ、第三條ノ二ニ「持ッテ往ッテ自家用ノタメニスルモノ、或ハ云々ト云フヤウナ文章ハ書イテ置カヌデモ宜イノデアリマス、此第三條ノ二號ノ文章ノ如キハ書イテ置カヌデモ宜イ、不用ノ條文デアルト云フコトニ止マラズシテ、斯ノ如キ文章ヲ掲ゲテ置クノ結果ハ、ドウ云フ結果ヲ來スカト申シマスト、農

民ガ自己又ハ家族ノ用ニ供スルタメニ自分カラ織物ヲ製造シタ場合ニハドウデアアルカ、一々之ハ自家用ニスルタメニ織ツタノデアリマス云フコトヲ、稅務官ニ届出テナケレバナラヌ、國民ハ自分デ著ル物ヲ織リマシテモ、一々之ヲ届出テナケレバナラヌト云フヤウナ迷惑ヲ感シマスルノミナラズ、果シテ自家用ニ供スルモノデアルヤ否ヤト云フコトニ付テハ、隨分稅務官等ノ間ニ衝突ヲ來サウト思フ、斯ノ如キ法律ノ定メ方デアルト云フ、國民ニ迷惑ヲ掛ケルノミナラズ、却テ紛擾ヲ來シ、手數トシマシテハ非常ニ簡捷ナラシムルコトコトコロノ課稅徵收ノ方法ノ煩雜ナルモノハ簡捷ナラシムルト云フ趣意デ、御制定ニナツタ此整理案ト致シマシテハ吾々ハ甚ダ疑フノデアリマス、此點ニ付キマシテモ御尋ラヌ、要スルニ此稅法整理ノ目的ナラ申シマス、吾々ノ目カラ見マスト、殆ド羊頭ヲ掲ゲテ狗肉ヲ賣ルト云フノハ本案ノ如キモノデアラウト考ヘラル、ノデアリマス、此整理ノ目的ニ付キ十分ナル御説明ヲ請フ次第デゴザイマス、ソレカラ尙一ツ稅法整理ノ大体ヲ見マスト云フ、其稅率ノ如キハ所得稅ノ如キニ於テ勤勞所得ヲ七掛トシ、勤勞資本ノ共同ノ所得ヲ八半掛ニスル、是等ノ如キハ幾分力廉クナリマシタカラ租稅ノ如キモ減ルデアリマセウガ、其他ノモノヲ眺メテ見マスト、一般ニ増シテ居リマス、現在非常ノ特別稅ヲ加ヘマシタモノヨリモ、尙多クノ場合ニ於テ增率セラレテ居ルヤウニ見受ケルノデアリマス、果シテ總テノ場合ニ於テ增率セラレテ居ルト云フコトデゴザイマスカラ、租稅ノ收納ノ上ニ於テ現在ヨリモ、ヨリ多ク租稅ガ徵收ガ出來ナケレバナラヌ管デアル、然ルニ此稅法整理ノ結果ハ二百萬圓歲入ガ減ル、斯ウ云フノデアリマスガ、多クノ場合ニ於テ稅率ヲ増シテアルニ拘ハラズ、此歲入ノ點ニ於テ二百萬圓モ減ルト云フノハ、ドウ云フ關係カラ生ジテ來ルノデアラウカ、或ハ稅率ノ高クシタガ減ルト云フ結果ニナルノデアリマセウカ、ソレトモ二百萬圓モ減ルト云フハ虛偽ノ事實デゴザイマスカ、此點ヲモ併セテ御答辯ヲ願ヒマス

○森本駿君 審査ノ順序ニ付テ其前ニテヨト意見ヲ述ベタイ、先程委員長カラノ御意見トシテ、審査ノ順序ハ便宜ノタメニ增稅案ヲ先ニシ、整理案ヲ後ニスルト云フ方針ヲ執リタイト云フコトヲ言ハレタ時分ニ、滿場異議ナクソレニ同意シタコト、信ジテ居リマス、其後大津君カラシテ今サウ云フ御意見モ委員長カラアツケレドモ、大體ニ付テハ、案トナシニ先ツ大藏大臣ノ説明ヲ聽イタ後ニ質問ヲシテ、ソレカラ順序ハ整理案ヲ後大津君ノ御質問ノ要旨ヲ見マスト云フ「例ヘバ」若クハ「一例ヲ舉ゲレバ」ト云フコト、大體ノ上カラシテ例證トシテ一例ヲ舉ゲテ言ハレタコトモアルヤウニ感シラレマスケレド、主トシテ此稅法審査委員會ノ審査報告調査ノ目的ヲ一々列舉セラレ、而シテ其例證トシテ引カレタコトハ、多クハ稅法整理案ノ内容ニ入ッテ、質問セラレテ居ルヤウニ認メタノデアリマス、ソレデ之ニ付テ直チニ應答ヲ始メルト云フコトニナルト云フ、稅法ノ方ヲ先ニシヤウト云フ、滿場同意シタコト、顛倒シテ整理案ノ方ガ先ニナルヤウナ嫌ニナル、又之ヲ一々詳シク政府委員カラ御答辯ニナリ從ッテ他ノ質問モ其事ニ付テ論及セラレルヤウナコトニナルト云フヤハリ順序ガ整理案ノ方ガ先ニナルト思ヒマスカラシテ、大熊

君ノ御質問ノ要旨ハ尤モノ御質問ト信シ、又吾々モ之ニ對スル答辯ヲ聽カントコトヲ最モ多ク欲スルノアリマスケレドモ、内容ニ入リテ整理案ヲ先ニスルカ、或ハ増稅案ヲ先ニスルカト云ハ、先ニ定メテ方ノ方針ヲ續ケルモノトスルナラバ、此大體ノ質問ニ止メテ内容ニ入ルコトハ、整理案ノトキニ至リテ其質問ヲ發セラレ、又之ニ對スル答辯ヲ聽クト云フ方針ヲ執リタイト思ヒマス、曩ニ大體ニ於テ異議ハ無カッタノアル、唯大津君ノ意見ガアツテ續クテ言ハレタト云フコトニ於テ居ルカラ、私ハ委員長カラ諮ラレタコトハ、大體ニ於テ贊成ノアツタモノト認メ、大津君ニ於テモ其順序ニスルト云フコトニ異議ガ無イト云フコトヲ最終ニ明言セラレテ居ルカラ、ヤハリ彼ノ議ハ成立テ居ルト認メマスカラ、議事ノ順序トシテハ前ニ御諮リニナッタ通りノ順序ヲ進ム方ガ進行上便宜ト思ヒマスカラ、成ルベクサウナランコトヲ希望致シマス

○委員長(栗原亮一君) 唯今森本君カラ發議ガアリマシタガ、順序ハ増稅ヲ先ニスルガ便宜デアルト云フコトデアリマシタケレドモ、說明ハ増稅ト整理ト說明ガアリマシタカラ、之ニ對シテ質問ガ起ッタデアリマスガ、各稅法案ノ方ハ其案ニ入りマシタカラ、十分ノ質問討論ヲスルコトニシマシテ、今說明ガ整理案ト増稅ト兩方アリマシタカラ、整理案ニ付テノ質問ト、増稅ニ付テノ質問ガ起ラントスルトコトデアリマスカラ、兩方ニ付テ大體ニ止メテ御質問ヲ願ヒタイデス

○大津淳一郎君 前ノ續キテ大藏大臣ノ說明ニ對シテ、マダ不足ノトコロ疑ハシイトコロ更ニ了解シナイトコロ今一度御說明ヲ請ヒタイ、大藏大臣ノ増稅ヲセザルヲ得ヌト云フ理由ハ唯今承リマシタガ、惟フニ今日ノ財界ハ日本バカリデハナイ、外國ノ財界カラ來ル變動ガアルノデアツテ、前年ノ計畫ガ財界ノ狀況ニ依リ公債ハ募集ハ出來ズ、已ムヲ得ス繰延ベ、今又後年ノ計畫ヲ立テルニ於テ已ムヲ得ズ増稅ヲスルノデアルト云フノガ、大體ノヤウニ私ハ聞キマシタ、如何ニモ財界ノ形勢ハ變動モアルノデアリマセウ、又今日ノ日本ノ財界ハ外國ノ影響ニ依リ變動スルコトモアルカラウト私共ハ信ジテ居リマス、サリナガラ此變動ハ始終財界ニハアルモノト致シマシタナラバ、前年ノ計畫ヲ立テ、責任ヲ以テ増稅ハセヌト政府ガ國民ニ誓フテ置イテ、而シテ一週年ヲ經ザル中ニ計畫ハ狂ツテ、是ハ財界ノ變動ノタメニ狂ツタノデアツテ、繰延ベキモノハ繰延ベテ、後年ノ計畫ハ又増稅ニ依ラヌヤナラヌト云フノデアレバ、日本國ノ財政ハ財界ノ形勢ニ依レバ、一年半年ニハ始終狂ハンヤナラヌ、始終計畫ハ變ヘナイヤナラヌト云フコトニナリマシタナラバ、一週年ノ豫算モ確乎タル豫算トシテ信ズルコトノ出來ナイ狀態ニ陥ラアラウト思ヒマス、又今年ノ政府ノ財政計畫モ、臨時部ト云フモノガ一億餘萬圓ノ收入ヲ以テ此計畫ヲ立テタノデアリマス、八千萬圓ノ公債募集ト云フコトモ其中ニ含シテアル、若シ此ガ財界ノ形勢ガ又變リマシタナラバ、明年ノ計畫ヲ立テルトキニハ斯ウデアツタガ、又増稅ヲスル、イヤ、公債ハ募集ガ出來ナクナツタ、又繰延ベスルト云フコトニナツテハ、日本ノ財政位一周年ヲ保タズシテ方針變動スルト云フコトニ至ツテハ、誠ニ淺マシイ計畫ト存シマスガ、現内閣ハソレデモ一向財政計畫ト云フモノハ據處ノナイモノデアアル、後來モサウ云フ變動ガ來ルトキニハ、又計畫ヲ變ヘルト云フ思召デゴザイマセウカ、是モ一ツ承ツテ置キタイト思ヒマス

○大藏大臣(松田正久君) ソレハサウ云フコトノナイタメニ、四十一年度ニ於テ斯ノ

如キ計畫ヲ立テタノデアリマス、唯公債ノミ多額ヲ毎年募集シテヤルト云フ如キコトニシテ置イテハ、ナカク、經濟界ノ景況時々變動ヲ生ズルニ依リテ、豫定ノ如ク財政計畫ノ實行ガ出來ナイ、ソレ故ニ斯ク致サンケレバナラヌト云フコトガ、四十一年度豫算ノ計畫ノ大體根本トナツテ居ルノデアリマスカラ、此計畫ニ依リマスレバ、少々ノ變動ガ來ルト雖モ差支ハナイト云フ見込ニナツテ居リマス

○大津三之助君 私人答辯ハドウデアリマス

○大津淳一郎君 サスレバ既往ノ變動ハ増稅ヲセヌト誓フデアツタケレドモ、一年過ギナイ中ニ變動シタモソレハ仕方ガナイ、サウ云フ狀態デアルカラ此増稅ヲ提出シタノデアル、將來少々位ノ變動デアハ計畫ハ變ヘナイ積リト云フ御說明ト思ヒマス、現内閣モ將來ノ事マデモ此處御答辯ヲ置ク必要モナイカモ知レマセヌシ、又誓ヒマシタコトコロガ前同ノヤウニ今度ノ變動デ、又財政計畫ヲ變ヘタト仰シヤレバ、ソレマデアルカモ知レマセヌガ、果シテ後來ハ少々ノ變動位デアハ財政計畫ハ變ヘナイ、此増稅ヲ最早ヤリ通セルト云フ御覺悟デゴザイマセウカ、今一應確言ヲ得タイ

○大藏大臣(松田正久君) 確ニ記憶シマセヌケレドモ、今答辯ヲ致シタコトガ政府ノ見込デアツテ、決シテ虛言ヲ申スノデモナイ、即チ其通りニ確答ヲ致シタモノト御承知下サツテ差支ハアリマセヌ

○早速整爾君 序ニ大藏君ノ質問ト一緒ニ……

○委員長(栗原亮一君) 大分長クナリマスカラ、之ヲ片付ケマセウ

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 先刻大藏君ヨリ稅制整理ノ目的ニ就テ、整理案ナルモノガ其目的ニ副ウテ居ラヌヤウデアルト云フコトヲ、各種ノ稅ニ付テ例ヲ舉ゲテ御示シナリマシタ、一々此例ニ付テ御答ヲスルノモ大變ニ暇ヲ要スルト思ヒマスガ、極簡單ニ御答ヲ申上ゲヤウト存シマス、稅制整理ノ目的ハ先刻御示シナリマシタ通り數項此處ニ掲ゲマシテ、租稅ノ負擔ニ偏輕偏重アルモノハ權衡ヲ得セシメ、稅率高キタメ產業ノ發達ヲ妨グルモノ、ソレハ課稅ヲ廢シ、又ハ稅率ヲ低ウスル、其他一一ノ條項ガ舉ゲテアリマスガ、之ニ付テ例ヲ舉ゲテ御問ニナリマシタ、宅地價修正ノ現在地價ノ二十倍ニ止メタルト云フコトハ、實際賃賃價格ノ十倍ヲ以テ修正スレバ、二十倍ニモ五十倍ニモナルモノガアルニ、ソレヲ二十倍ニ限ルノハ所謂偏輕デアラウ、輕過ギル、重カルベキモノヲ輕過ギルデアリナイカト云フ御問デアリマスガ、此二十倍ニ止メタルト云フコトハ、此前回……前々回デアリマスガ、宅地價修正法案ガ提出ニナリマシタトキニ議會ニ於テ屢々說明モ致シタ通りデアリマシテ、御説ノ通り賃賃價格ノ十倍ヲ以テ修正スルト云フコト、俄ニ地租ノ負擔ニ激變ヲ與ヘル、斯ウ云フコトガ宜クナイ、殊ニ此租稅ノ負擔ト云フコトニ付キマシテハ、激變ト云フコトハ最モ是ハ避ケネバナラヌモノデアアル、十倍ヲ以テ何處マデモ推シテ往ケバ、ソレハ如何ニモ公平ノ如ク理窟ト致シテモ宜イカモ知レマセヌケレドモ、其理窟ヲ押通サウト致シマス、租稅ノ負擔ニ激變ヲ與ヘル、斯ウ云フコトガ宜クナイ、斯ウ云フ理由ヲ以テ此宅地價修正ハ現在地價ノ二十倍ヲ以テ限度ニスル、斯ウ云フコトニ致シタノデアリマシテ、唯偏輕偏重ト云フコトバカリ見テ往テハ實際ニ宜クナイ、斯ウ云フコトカラ二十倍ニ止メタルト云フコトニ致シタノデアリマ

シテ、調査ノ目的ノ第一ニ決シテ背イテハ居ラヌト思フノデアリマス、ソレカラ又賃賃  
 價格ノコトニ付イテイロ、御質問モゴザイマシタガ、要スルニ今回提出致シテアリ  
 マスル宅地價修正法ノ賃賃價格ノ極メ方ハ、唯現實ノ賃賃價格ニノミ重キヲ置カヌ  
 積リテアリマス、例ヘバ茲ニ何村ノ何番地ノ土地ヲ幾ラテ賃シテ居ルト云フモノガアリマ  
 シテモ、多クノ場合此賃賃價格ト云フモノハ、借リル人ト貸ス人トノ關係、又其他ノ特  
 殊ノ事情ガアリマシテ、高カッタリ廉カッタリスル實際ノデアリマスカラ、現實ナル賃賃價格  
 ニノミ依リマス非常ノ間違ガ起リマスカラ、宅地價修正法ニテ採用スルトコロノ賃賃  
 價格ハ評定價格ニ依ル積リ、詰リ現在其地方ニ行ハレテ居リマストコロノ極中庸ト認  
 メル賃賃價格ヲ先ツ認メマシテ、ソレカラ算定シテ此地方ノ宅地ノ一坪當リト云フモ  
 ノハ、ドノ位ニ賃賃價格ヲ極メルガ相當ナル、斯ウ云フ風ニ致シマシテ、現實ノ賃賃價  
 格ニノミ依ラズ、唯今申シマスヤウナ評定ラシテ適當ナル賃賃價格ヲ定メ、斯ウ云フ方  
 法デヤル積リテアリマスカラ、若シ御質問ノヤウナ高ク賃シテ居ル者廉ク賃シテ居ル者ト  
 云フヤウナ實際ガアリマシテモ、決シテ其實際ニノミ依テ評定價格ヲ極メルト云フコトニ  
 ハ致サヌ積リテアリマス、ソレカラ麥酒ノコトニ付テ御尋ガアリマシタ、麥酒稅ハ外國ニモ  
 ナイ高イ稅デアル、是等ノタメニ產業ノ發達ヲ妨ケルト云フヤウナ有様デアルガ、之ヲ其  
 儘ニシテ置クハ是亦調査ノ目的ノ副ハヌデハナイカ、麥酒稅ハ其儘ニシテ置クノミナラ  
 ズ、増稅ヲスルト云フコトハ、第二ノ調査ノ目的ノ副ハヌデハナイカト云フコトデアリマシ  
 タガ、御尋ノ通り、麥酒ノ稅ハ外國ノ麥酒稅ニ較ベマス、日本ノハ比較的高ウゴザイ  
 マス、其事ハ實際デゴザイマス、併シ此麥酒稅ノ外國ノ廉イトコロハ麥酒ト云フモノハ、  
 殆ド其國ノ全國民ノ主タル飲料トナッテ居ル、日本デハ御承知ノ通り未ダ麥酒ト云フモ  
 ノハ一般ノ飲料ニハナッテ居ラヌデアリマス、清酒ノ方ガ一般ノ飲料トナッテ、麥酒ノ方  
 ハ一般ノ飲料トハ未ダ申サレマセヌ、サウ云フ譯デアリマシテ且麥酒ハ又清酒ヨリモドウ  
 カト云ヘバ上流ノ人が用ユルノデ、サウ云フ關係ガアリマス、故ニ一概ニ外國ノ麥酒ノ  
 稅ガ廉イカラト申シテ、日本ノ麥酒ノ稅ガ高イトハ申サレマセヌ、詰リ日本デ麥酒ヲ飲ム  
 人ハ比較の上流ノ人が用ユルト云フ關係ガアリマスカラ、今日ノ麥酒稅ト云フモノハ一  
 概ニ之ヲ外國ニ較ベマシテ高イトハ申サレト思ヒマス、ソレカラ又取引所稅ノコトニ付テ  
 御尋デゴザイマシタガ取引所稅ノ收入ヲ見マス、年ニ依テ増減ガアリマス、其中二十  
 七年ノ稅ヲ見マス、取引所稅ノ收入ガ少シ前ヨリ減ッテ居ル形ガ見エマス、併シ二十  
 七年ノ減リマシタノハ稅ノ關係テナクシテ、私共ノ見テ居ル所デハ、三十七年ノ景氣ノ  
 衰クナイト云フコトニ大原因ヲ持ッテ居ラヌラウト思ヒマス、其證據ニハ其後景氣ノ恢復  
 シマシタ後ニ於テハ、取引所稅ノ收入ハズツト年々増シテ居リマス、唯課稅ノタメニ  
 稅率ヲ高メタメニ租稅ノ收入ヲ減シタモノ、斯ウ云フ一ツノ例ヲ此所テ御話申上テマ  
 スト云フト、狩獵稅デゴザイマス、狩獵法ニ依ル狩獵稅デゴザイマス、是ガ戰時トキニ  
 稅ガ大變上リマシタ、其結果ガ此第三項ニアリマス様ナ稅率ヲ高メタルタメニ、租稅ノ  
 收入ヲ減シタト云フ丁度適例ニ當ッテ居リマス、此狩獵稅ニ付キマシテハ、稅率ヲ増シ  
 テ却テ收入ガ減リ、一方ニ於キマシテハ密獵者ガ殖エルト云フ様ナ惡ルイ結果ヲ來シタ  
 ト云フコトヲ認メマシテ、整理案ニ於テハ稅率ヲ減ラシテ立案シテアリマス、取引所稅ニ  
 付テハ別段其稅率ヲ高メタメニ、租稅ノ收入ヲ減ラシタトハ認メテ居リマセヌ、ソレカラ

織物消費稅ノコトニ付テ御質問ガアリマシタガ、詰リ此織物消費稅ニ付キマシテハ、段々  
 世間デハ惡稅デアル、廢止スルガ宜シイト云フ様ナ説ガアリマス、稅法審查委員  
 會、又稅法整理案審查會、何レニ於テモ此織物消費稅ニ付テハ非常ニ綿密ノ研究ヲ  
 致シマシタ、稅法審查委員會ノ方ニ於キマシテハ、織物消費稅ノイロ、ノ批難ノアル  
 ノハ、課稅ノ方法ガ煩細デアルト云フコトニアルノヲ認メマシテ、從量稅ト云フコトヲ採  
 タノデアリマス、其外改正シタ所モアリマスガ、大體ノトコロハ從量稅ヲ採ルガ宜シイ、從  
 量稅ヲ採レバ餘程手續ガ省ケル、且課稅ノ公平モ保タレル、斯ウ云フ意見ガアリマシテ、  
 ソレガ審查會ノ方ニ往キマシテ、段々審議ヲ致シテ、其結果ヤハリ織物ハ今日マデヤッ  
 居ル通り從價稅ニシテ置ク方ガ宜シイ、從量稅モ宜シイカ知ラヌケレドモ、折角今日マデ  
 數年間從量稅ヲ慣レタコロノ課稅方法ヲ變更スルノハ面白クナイ、斯ウ云フコトデ從  
 價稅ニ據ルト云フコトニナッテデアリマス、ソコデ取入ヨリ稅ヲ取ル、斯ウ云フコトニ規  
 程ニナッテ居リマスガ、是ハ其稅ヲ取ル時極メタノデ、四條ハ稅ヲ取ル時極メタノ  
 デアリマス、一體織物ニハ本法ニ依リ消費稅ヲ課ス、第一條デ、總テノ織物ニハ皆掛ケ  
 ルト云フノガ本體デアルノデ、引取人ガ納メルト云フノハ稅ヲ取ル時極メタノデアリマ  
 スカラ、ヤハリ此規程ハナケレバナラヌト思ヒマス、ソレカラ此所得稅ノコトニ付テ御質問  
 デアリマシタガ、所得稅ハ整理案ヲ御覽ニナリマス、一見シテ御分リニナリマセウガ、大體  
 小所得ノ方ニ幾分稅ヲ輕クシマシテ、大所得ノ方ニ幾分稅ヲ重クシテアリマス、サウ云  
 フデアリマシテ其他イロ、ノ改正モ本案ニ付テ御覽ニナレバ御分リニナリマス、サウ云  
 フコトニナッテ居リマス、決シテ所得稅ヲ戰時トキヨリ増スト云フヤウナ趣意ヲ持ッテハ  
 居ラヌノデゴザイマス、ソコデ大體此稅法ヲ整理致シマシテ、然後ニ租稅ノ收入ハドウ  
 ナルカト云フ、斯ウ云フコトヲ計算シタモノガ出來テ居リマスガ、ソレニ依リマス、増シタ  
 モノモ減ッタモノモゴザイマス、所得稅ノ如キハ大體ニ於テ少シ減リマス、ソレカラ織物消  
 費稅ノ如キハ、毛織物ノ一割五分ト云フノヲ一割ニ致シマシタ結果、百万圓程織物消  
 費稅ハ現行ヨリ減ルコトニナリマス、其他各稅ニ付テ多少ノ増減ハアリマスガ、此等ノコ  
 トハ減シナケレバナラヌト云フ目的ヲ以テ減ラシタノデモナイモノモアリマス、要スルニ二、三  
 万圓モ減ルト云フコトハ當時ノ調査ニ於キマシテ、決シテ是ハ能イ加減ナコトヲ此處ニ  
 出シタノデハナイ積リテアリマス、各稅ニ付テ整理ヲ致シタ其結果ガ、或稅ニ於テハ増シ、  
 或稅ニ於テハ減ッテ、其結果ガ二百万圓ノ減リ、斯ウナッテデアリマス、尙足リマセヌコ  
 トハ御質問ニ依ッテ御答致シマス

○政府委員(水町架裝六君) 先刻ノ御質問ニ少シ御答致シマス、大津君ノ質問ト  
 思ヒマスガ、前年ハ政府ハ増稅ヲシナイ、ト斯ウ云ッテ居ッテ、サウシテ今年ニナッテ直チニ  
 増稅案ヲ出ス、極メテ信ヲ措ケナイ處置ヲスル、斯ウ云フ御趣意ノ質問デアッタト考ヘテ  
 居リマシタガ、ソレニ對シマシテハ大藏大臣ヨリ委細ノ説明モアリマシタコトデゴザイマス、  
 ソレ十分ノ譯デアゴザイマス、尙今ノ前年政府ガ増稅ヲシナイト云フタコト、ソレカラ  
 前年ノ政府ノ有ッテ居リマシタトコロノ考、ソレニ對シマシタコト今年ノ財政計畫ハ多少  
 變更致シテ居ルニ相違ナイノデアゴザイマス、唯其變更ハドウ云フ部分ニ付テ變更ガアル  
 カ、其變更ノ程度ハドンナモノデアアルカト云フコトヲ、要領ダケ御話ヲ致シテ置キマセウケレ  
 バ、唯徒ラニ政府ガ前年ノコトヲ今日全部改訂シテシマッテ、少シモ信ヲ措ケナイ、將來

トテモ此通りデアッテハ甚不安心デアルト云フガ如キ、御懸念ヲ生シマスルヤウデハ相濟  
マスト思ヒマスカラ、少シ此邊ノコトニ付キマシテ幾ラカ確メマス趣意ヲ以テマシテ、極ク要  
點ヲケテ申上ゲテ置キマス、前年ノ議會豫算委員會テゴザイマシタラウカ、大藏大臣  
ガ今年ハ全ク増稅ヲシナイ、又募債モシナイト云フコトヲ明言致シテ居リマスルニ相違  
ゴザイマセヌ、是ハ速記録ニ殘テ居リマス通リ、ソレカラ其説明ノ中ニ四十一年モ別ニ増  
稅シナクテモ、歲計ハ立ツ積リデアルト云フコトモ、漠然トデアリマスケレドモ、速記録  
ノ中ニ殘テ居リマスヤウテゴザイマス、ソレニ付キマシテ今日ノ政府ノ取リマシタコト  
計畫ガソレト全部齟齬シテ居ルガ、全クソレヲ打消スヤウナコトニナツテ居ルカト云フコト  
ヲ見テ見マスルト、少シモサウ云フコトハナイテゴザイマス、アレヲチヨット此處ニ辯明致  
シテ置キタイト思ヒマス、四十年ハモウ御承知ノ通り別ニ増稅トテモゴザイマセズ、別段  
ニ經費補足ノタメニ公債ヲ募集スル必要モ全クナカッタデアリマス、ソレカラ四十一年度  
ノ方ハドウナツテ居ルカト申シマスルト、是ハ別ニ計畫ノ見込ヲ御話スルノデハゴザイマセズ、  
現實ノ茲ニ計算ガチャントゴザイマスガ、此從前ノ既定ノ計畫ノ一歲出ノ計畫ハ其  
儘ニ致シマシテ、サウシテ四十一年度ノ歲出ノ總高ヲ豫時經常皆合計シテ見マスルト、  
約一億一千万圓バカリノ不足デアリマス、合計シマシタコトノ歲入不足ト云フモノガ  
約一億一千万圓バカリノ不足デアリマス、是ハ四十一年度ノ豫算ニ依ツテ御計算ニナリマスルト、此通り必  
ズ出マスノデアリマス、ソレニ對シテ其補填ノ財源ハ斯ウ云フモノガアリマス、今年ノ此四  
十一年度——四十年度ノ豫算案ニ載ツテ居リマストコロノ臨時軍事費ノ剩餘金ガ  
約四千九百万圓バカリ、ソレカラ俸勞ノ給養費償還金ガ約四千七百万圓バカリゴザイ  
マス、サウ云フモノガゴザイマシテ、其上ニ尙前年度ノ是ハ一般會計ノ剩餘金ガ約一千  
一百万圓カラ二百万圓マデノ間ノモノガアル譯ニナツテ居リマス、是等ノモノハ皆現金ト  
シテ確ニ殘リマストコロノ歲計ノ剩餘金デアリマス、極確實ノ歲入デアリマス、是等ノ  
モノヲ以テ今ノ一億一千万圓バカリノ不足ニ對スル補填ニ充テマスルト、略々出入ノ均  
衡ハ立テマスルヤウニナル筈デアリマス、之ヲ凡ソ見込ミマシテ前年ノ議會ニ於キマシ  
テ大藏大臣ハ四十一年度モ別ニ増稅モ致シマセヌ、又公債ノ發行ヲ致シマセヌデ——  
別段新シイ公債ノ發行ヲシマセヌデ、此歲出入ノ平均ヲ立テ得ル積リデアアル、即チ四十  
一年度ハ之ヲ以テヤリ得ル見込デアアル、ト斯ウ云フコトヲ申シタ積リデアリマス、此計算  
ハ今日デアッテモヤハリ違ハヌ筈デス、併シソレニ拘ハラズ今度増稅ノ計畫ヲ立テマスル  
ヤウニナツテ居リマスノハ、先年來此大戰爭ノ後ヲ受ケテ居リマシテ、歲出ノ膨  
脹ハ御承知ノ通り随分激シイモノニナツテ居リマス、四方八方ニ手ヲ擴ゲマシテ  
臨時ニモ經常ニモ餘程ナ澤山ノ金ヲ使フヤウニ成來ツテ居リマスノヲバ、ソレヲ  
四十年度カラ漸次整理ヲシマスヤウニ掛ツテ居リマス、サウシテ一年カニ二年或ハ數年モ掛  
リマシテ、此整理ヲ完成致サウト云フ政府ノ前年來ノ計畫デアリマシタガ、其後一年  
得ルヤウナコトニ成リ掛ツテ居リマスモノデアリマスカラ、サウナツタ以上ハ一日モ早ク此財  
政計畫ヲ鞏固ニ立テ直シマシテ、サウシテ内外共ニ日本ノ財政ハドウナルデアラウカト  
云フ不安ヲ懷イテ居リマス際デアリマスカラソレヲ一日モ早ク安心サセルヤウニ致ス  
コトガ、國ノ大體ノ歲計ノ上カラ極メテ必要デアラウト、斯ウ云フ考フ今年ノ此豫算ノ編

成ノ際カラシテ起サレマシタ譯デアリマス、此結果トシテ前年大藏大臣ガ議會テ明言シ  
マシタ部分ニ對シテ、何が變テ來タカト申シマスルト、詰リ四十一年度マデハ増稅シナク  
テイケ得ルト云フコトハ、少シモ變更ハナイ譯デアリマス、唯將來ノ財政計畫ヲ今日カ  
ラシテ確シカリ基礎ヲ立テルヤウニシタイト云フタメニ、一面ニハ既定ノ繼續費ノ必要ノ  
程度マデハ繰延ヲ致スコトニ圖リ、一面ニハ此四十一年ハ誠ニ無事デアリマスケレド  
モ、數年ノ後ヲ見計シテ見マスルト、歲出モ自然ニ多少増スト見ナクテハナラヌデアリマ  
セウシ、又ソレヲ増サスト云フ計算ヲシマシテモ、四十二年度ニナリマスルト、豫算總會テ  
モ屢々御質問ノアリマシタヤウニ、臨時ニ四十年度ニゴザイマシタヤウナ、全ク不時ノ臨時  
收入ト云フモノハ四十二年度ニドモ豫期スルコトハ出來マセヌカラ、四十二年度ノ歲  
計ハ餘程不足ヲ見ルヤウニナリマスノデアリマス、ソレテ今ノ繰延ト増稅ト相俟ツテ、サ  
ウシテ四十二年以後、少クとも數年カ四五年ノ間奇麗ニ歲出入ノ權衡ガ取レテ、尙其  
上ニモ多少ノ餘力位ハ殘スヤウナ計畫ヲ今日カラ立テヤウト云フコトニナツテ居リマシテ、  
詰リ將來ノタメニ圖リマシテ、今年カラシテ増稅ノ方ニ着手スルコト云フ部分ガ變リ  
マシタニ外ナラヌノデアリマス、四十年タケノ一箇年ヲ見マスルト、前年議會テ明言シ  
マシタ通り、少シモ變更ハゴザイマセヌ、唯今日最早既ニ諸般ノ事實ヲ明確ニナリ來ツ  
居リマスシ將來ノタメニ基礎ヲ立テナケレバナラヌト云フコトガ最モ急務デアルト云フコト  
ヲ見マスル以上ハ、四十一年度ハ無事デアラウカ、四十二年度ハ構ハヌテ免ニ角、四十  
二年度ハ是ヲ往ケバ宜シイデアナイカト、斯ウ云フ安心ヲシテ居ルコトノ出來ナイ譯デアリ  
イマスカラ、詰リ將來永久ニ亘リマシテ、永久ト申シマシテモ何十年ト云フコトデアリマ  
セヌガ、免ニ角少クとも四五六年ノ間、歲計ノ基礎ヲ今日ニ於テ確定スルヤ  
ウニシタイト、是デ今ノ四十二年カラ増稅ニ着手スルコト云フ此一點ガ違ツテ居リマス、  
ソレテ一面ニ尙増稅ノミニ依ルコトガムツカシイデアリマスカラ、繰延——既定ノ繼續  
費ノ或部分ヲ繰延ベマスノガ、是レケケデアリマス、ソレテ全体カラ見マスルト、政府ノ  
財政ノ計畫ノ方ハ前年ヨリ今年ハ其先ニ一歩進メルトイフコトニ過ギナイ、前年確定シ  
テ何十年ニ亘ル計畫ヲシテ置イテ、ソレヲ今年ニナツテカラ全体ヲ顛倒スルコト、或ハ其大  
部分ヲ變ヘルト云フヤウナコトハ、全ク違フモノト見テ居リマスカラ、ソコハ一ツ御承知ヲ  
願ツテ置キマス、ソレカラモウ一ツハ彼ノ整理案ノコトニ付テ御質問ニ御答フ致シマスガ、  
ナタデアリマシタカ、大熊君デアリマシタカ、ソレニ付テ今主稅局長ヨリ詳細御答ヲ申  
上ゲマシタノデアリマスガ、ソレニ關シマシテ又一ツ念ノタメニ一言申シテ置キタイト思ヒ  
マスルノハ、是ハ審查要録ノ方ニ大體記載シテアルト考ヘマスルガ、此稅法ノ整理ノ審查  
ヲ致シマス際ニ、第一ニ吾々ノ方テ疑問ト致シマシタノハ、非常特別稅ノ約一億六千萬  
圓、是ヲ減シ得ルカ否ヤト云フコトヲ第一ニ考ヘテ見マシタノデアリマス、然ルニ此  
各種ノ事情、ソレカラ國ノ歲出ノ全體ノコト、ソレ等ノコトヲ精密ニ考究シマシタ結果ハ、  
到底此一億六千万ノ非常特別稅ノ殘リノ是ノ中カラ千万以上ノ金額デモ、減ズルト  
云フコトハ到底日本ノ今日ノ形勢ト云フモノガ許サヌデアラウト思フ、是レケケノモノハ  
ウシテモ尙保存シテ置カナケレバナラヌカラ、ト斯ウ云フコトニ攻究ノ結果ハ、歸着致  
シマシタ、ソレテ此大體ノ範圍ハ此一億六千万圓ハ減シ得ベカラザルモノト云フコトニナ  
リマスルノデアリマス、ソレカラ次ニ尙攻究スル問題ト致シマシタノハ、此整理ヲスルニ付

テハ世間ニモ各種ノ御議論ノアルコトヲ拜聴致シテ居ル譯デゴザイマスカラ、或ハ此際ニ所謂根本的ノ整理税法ノ基礎カラシテ立直スト云フコトハ、ドウデアリマセウカト云フコトモ、其次十分ニ攻究ハ致シテ居ルノデゴザイマス、然ルニ其攻究ノ結果ハ、日本ノ是迄ノ各種ノ國稅ハ皆此實行ノ年月ノ久シク經過シテ居ルコトデアリマシテ、自然此經濟其他生活狀態ト相適合スルヤウナ形ニ實際ニ於テ成來ッテ居リマスカラ、若シ之ヲ此際ニ急激ニ根柢カラ變更シヤウト致シマスレド、或ハ此生活狀態トカ、經濟狀態、ソレニ激變ヲ與フルト云フガ如キ虞モアル其上ニ又根本的改正ト申シマスレド、租稅制度ノ基礎ヲ變更スル譯ニナリマスカラシテ其實行ノ後少クとも數年ノ間位ハ豫定ノ收入ヲ得ルト云フコトハ餘程ムツカシイデアラウト、ソレハ現ニ想像バカリデアゴザイマセウ、他ノ國ニ於テモ租稅ノ根本的ノ改革ヲヤリマシタ後ノ實蹟ハ其通りニナッテ居リマス、一モ豫定ノ收入ハ當分ノ間得ラレヌト云フコトニナッテ居リマス、ソレモアリマスルカラ、若シ此財政ノ狀態ガ餘程常事ニ復シマシテ、大分ノ餘裕デモ有ルコトノ出來ル際ニハ、或ハサウ云フ改革ヲ試ムルコトモ宜シカラウケレドモ、今日ノ如キアツテモ足ラナイト云フ隨分切迫シテ居ル財政ノコトデアリマスカラ、此際ニサウ云フ危險ヲ冒スト云フコトハ、國ノ大體ノタメニ得策デナカラウト、詰リ根本的整理ト云フコトハ將來ノ問題トシテ殘シテ置ク方カ宜カラウ、斯ウ云フコトニ研究ノ結果ハ歸着致シテ居ルノデアリマス、サウナリマスレド税法整理ハドウ云フ所ノ整理ヲスルヤト云フ、詰リ現在ノモノニ致シテラキマシテ、サウシテ唯此負擔ノ不公平即チ最モ負擔ノ仕易イ所ニ往カナイデ、負擔ニ苦シム所ニ比較的多ク負擔ガ掛ッテ居ルト云フ如キモノヲバ、成ルベク公平ヲ得ルヤウニ引直シ、ソレカラ徵稅上ノ手續等ニ付テ納稅者ガ不便ヲ感ズル所ガアリマスレド、ソレヲ成ルベク簡便ニスルト云フガ如キコトガ、即チ此税法ノ整理ノ歸着點トナッテ居ルノデアリマス、ソレデ今ノ一二百万内外ノ整理減ト稱シマスレド、全ク是ハ目的以外ノモノデアリマシテ、目的トシテハ戰時稅ノ關係ノモノヲバ成ルベク其通りニシテ置キタイト云フ、即チ其範圍ヲ縮メナイ程度デアッテ往カウト云フノデ、偶然ニモ此一二百萬内外ノ減少ヲ見ルヤウニナッテデアゴザイマス、ソレデ其結果ヲ若シ御覽ニナリマスレド、ドナタモ整理ト云フ以上ハ、負擔ガ餘程減ルヤウニナルデアラウシ、又非常ナ改正デモ加ヘルデアラウト豫期シテ御出デニナッテ居ルデアリマセウガ、ソレニ對シテ申シマスレド、多分御不満足ノ整理ト御覽ニナルノハ、已ヲ得ヌデアリマスレド、大體ノ整理ノ方針ガサウ云フコトデアリマシタノデアリマスルカラ、ソレヲ前提トシテドウカ御合置キテ願ッテ置キマス、其結果トシマシテ、或ハ減ズル所ガアリマスルケレドモ、場所ニ依リマシテハ多少増シマスル所モアリマス、併シ是ハ増稅ガ主眼デハナク、負擔ノ公平ト云フコトヲ主トシテ居リマスレド、ソレデ此整理案ノ各條ノ内容ニ付キマシテハ、各科目ノ内容ニ付キマシテハ、整理案ノ問題トナリマシタ際ニ、吾々ヨリ詳細ニ又説明致シマスル積リデアリマスルケレドモ、唯大體何ウ云フ趣意デ、何ウ云フ目的デ整理シタカト云フ廉ダケニ付キマシテ、今日ソレヲ説明ヲ致シテ置キマス

○大津淳一郎君 唯今現政府ノ中デモ、比較的眞面目ナ大藏次官ト信ジテ居リマスル水町次官カラ、唯今ノヤウナ御説明ヲ聽クトハ私ハ意外ニ思フノデアル、今述ベラレタ御説明ニ依テ見ルト、昨年ノ計畫ヲ變ジタノデアリ、一歩ヲ進メタノデアル、稅ヲ取ル

方ノ收入ヲ増ス方ノ御考ヘナラバ、一歩ヲ進メタカ知ラヌガ、併ナガラ昨年ノ計畫ト云ヘバ、財政全體ノ計畫ヲ指シタモノト信ズル、必ズサウデアリマセウ、收入ヲ計ル御考ナラバ、一歩ヲ進メタト御説明ニナルノモ然ルベキコトデアリマスガ、財政ノ計畫カラ云フノデ、一歩ヲ進メタト云フノハ、如何ナル點カラ一歩ヲ進メタノデアルカ、昨年増稅ハ是レカラ一切セヌト云フ御言葉ハ、是ハ二ヶ年限リ、本年度即チ四十年年度ト四十一年度ニ増稅ヲシナイト云フ御言葉アルトスレバ、如何ニモ大藏大臣ハ二箇年ノ先キホカ見エナイ近眼者デアルト云フヨリ外ナイ、加之二箇年デナイ、昨年増稅セヌト云フノハ、四十年年度ノ御考ヘナラバ、財政計畫ヲ出シテカラ、再ビ増稅計畫ヲ出ス答ガナイカラ如何ナル馬鹿者デモ増稅ハ致シマセヌト云フナラ、其年度限リノコトナラバ誰モ言フ、然ルニ其年度限リノ言葉デ、翌年度ノ財政計畫ニ於テ斯ウ云フ増稅計畫ヲ立ツタ、然ラバ四十一年度ノ爲メデヤナイ、四十二年度ノ先キヲ計ル一歩ヲ進メタ財政計畫ニ於テ、何故ニ六千万圓ノ事業ヲ繰延ベマシテ、其上ニモ尙五百何万圓ヲ増稅テ仕拂フト云フ計畫ヲ一六千万圓繰延ベテ尙アト五百何万圓此四十一年度ニ仕拂フト云フ案ヲ出シテ置キナガラ財政計畫ハ一歩ヲ進メタトハ餘リ胡魔化シニモ程ガアル御説明ト思フ、又其年度限リヨリ増稅ヲセヌト云フナラバ、四十年年度ノ豫算ヲ提出スル當時、合セテ計畫ヲ出シテ置イテ、是カラ増稅ハシナイト云フコトハ、子供デモ言ヘル話デアル、サウ云フコトヲ大藏大臣ガ言ハレル答ガナイ、然ラハ四十一年度ニ計畫ヲヤハリ出シテ、是ハ將來ノ爲メト云フ、何故ニ六千万圓繰延ベテ尙五百何万圓ヲ使フノデアルカ、ソレ等ノ點ハ比較的現内閣眞面目ナ次官ト信セラレテ居ル御方ガ斯様ナ胡魔化シテ言ハレルガ、此點ハ眞面目ニ御答ヘアリタウ存ジマス

○政府委員(水町次官) 大變不眞面目ノ御説明デモシタカノヤウニ御聽取リテシタカ、サウデハナイ積リデアリマス、是ハ私ハ此處デ議論ヲスル必要モ何モゴザイマセウ、速記録ヲ其通り申シマシタノデアリマス、速記録ニ就イテ御覽ヲ願フト、全ク間違ヒナイコトヲ書イテアリマス、ソレカラ尙附加ヘテ申シマスレド、豫算委員總會ノ速記録ニ斯ウ云フコトガ必ズアル答デアリマス、是ヨリ歳出ノ整理ヲ致シマス、斯ウ云フコトヲ確カニ書イテゴザイマス、即チ今年ノ歳出ノ整理ヲシテ居リマスガ、即チ其繰延ベ繼續費ノ年度割ヲ書イテアリマスガ、即チ歳出ノ整理ノ一端デス、是ハ私ガ此處ロテ辯シマスヨリハ、速記録ノ方ガ餘程確カデアリマス、ソレデ御承知ヲ願マス

○横田虎彦君 要求ヲシテ置キマス、前ニ大藏次官ニ御示シナリマシタ四十二年ノ豫定ノ計數、吾々ガ勘定シテモ分リマセウガ、既ニ御計算ニナッタモノガアリマシタラ、一應參考ノタメニ賞ッテ置キタイ

○大津淳一郎君 私モ請求ヲシテ置キマスガ、財政整理ノ方デ出來上ッダ整理案ノ各費目ニ就テ、整理ノ結果増減ヲ審カニ各費目ニ付イテ拵ヘタモノヲ拜見致シタウデアゴザイマス

○政府委員(菅原通敬君) 今御配布シタモノニ書イテアリマス

○委員長(栗原亮一君) 御請求ノモノハソレノ作ッテ費フヤウニ頼ミマス、今日ハ是デ閉會致シマシテ、二十一日午後二時カラヤリマス

午後三時五十八分散會